

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成29年11月30日（木）午後6時30分～8時20分

【会 場】麓郷集落センター

【対象地域】麓郷全域

【出席者】28人

【記録者】入交

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	JR北海道の問題は今後どのように進んでいく予定なのか。どんな動きがあるのか。	【市長】JR北海道の経営安定基金は、利率分で赤字を補填する枠組みであったが、現状のままでは平成32年に資金がショートする可能性がある。今後、鉄路を維持するためには住民が負担するというのではなく、JR北海道が経営努力の中でどう進めていくのかが大事なことであり、同時に地域における路線の必要性も明確にしていかななくてはならない。さらに、北海道が中心となり鉄路を含めた道内の交通体系をどうするべきかを考えていかななくてはならない。また、貨物輸送についても、農業団体や商業団体と連携し対策を講じていくとともに、北海道が中心となって国に向けて声を届けていかなければならない。その準備として地域の状況などを議論していくために、地域懇談会においてみなさんの意見を伺っている。
総務部	麓郷に住んでいると日常的にバスを利用することはあるが、駅まで行ってJRを利用するという機会がないため、輸送密度などの話はあまりピンとこない。しかし、貨物輸送を含めて鉄路の維持について考えると、農産物の輸送コストにも大きく影響するため、農業者にとっては重要な問題である。	【市長】富良野駅から年間約9万トンの貨物輸送があり、8月から翌年の3月末まで運行している。JR貨物の鉄道使用料は現在、全国一律となっているが、鉄道使用料が上がった場合には農産物の価格も上がる状況になることが懸念される。 【副市長】JRによる貨物輸送のほかにトラック輸送もあるが、トラックの運転手不足も懸念されている。
総務部	旭川に行く場合、JR・バス・自家用車と交通手段の選択肢がある中で、JRを利用したとしても住民の利用回数には限界があり、これだけの赤字を埋めることは難しいと思う。人口減少の課	【副市長】交通機関は、便数が少なくなるなど不便となり、徐々に利用しづらい状況になってしまうという悪循環になってしまうので、利用しやすい状況づくりは必要であると考えます。

	<p>題がある中で、住民利用というよりは観光客にたくさん利用してもらえそうな企画が必要だと思う。</p>	
<p>市民生活部</p>	<p>ごみの分別説明会後の分別状況は良くなっているのか。説明会では話を聞いてみると、意外と分別は面倒ではないことがわかったので、もっとPRなどをしていくと、さらに良くなるのではないかなと思う。</p>	<p>【市民生活部長】これまでプラスチックごみについては、地域説明会のほか、出前講座などによりごみの分別の協力について改めてみなさんに周知している。その後の状況としては、固形燃料が徐々に減るとともに、プラスチック類のごみが増えてきており、今後も引き続き出前講座などで分別について説明するので、みなさんのご協力をお願いしたい。また、スマートフォンなどの携帯電話でごみに関する情報を調べることができる、ごみ分別アプリもぜひ活用していただきたい。</p>
<p>市民生活部</p>	<p>富良野に移住してきたが、ごみの分別方法について地域説明会で丁寧に説明してもらい改めて理解をした。また、富良野市にはごみの焼却炉がないことにも驚いた。</p>	<p>【副市長】意見として受け止める。</p>
<p>市民生活部</p>	<p>犬を散歩していると、近年、観光客の増加に伴いごみを道路にポイ捨てしている状況が増えているように感じている。気がついたら拾っているが、汚れがひどいので分別せずに固形燃料ごみに入れていたが、そのようなごみでも分別して出した方が良いのか。</p>	<p>【市民生活部長】極力分別をお願いしたいが、どうしても取れない汚れであれば固形燃料ごみでもやむを得ないと考えている。収集業者には汚れ具合にもよるが、多少の汚れがあっても収集するように打ち合わせをしている。</p>
<p>市民生活部</p>	<p>拾ったごみが大量にあった場合は、市役所に持って行けば引き取ってもらえるか。</p>	<p>【市民生活部長】環境課に連絡をいただければ個別に対応する。</p>
<p>市民生活部</p>	<p>拾ったごみの受入体制が明確であれば、ボランティアでごみ拾いする人も増えるのではないかな。</p>	<p>【副市長】以前からも対応しているが、拾ったごみを資源回収ステーションに置いた旨を担当部署に連絡していただければ対応する。 【市民生活部長】拾ったごみの対応については、対応内容などを</p>

<p>市民生活部</p>	<p>使い捨てライターは市役所に届けることになっているが、遠方の人は月1回程度、地域内で回収する仕組みがあると良いのではないか。</p>	<p>整理して、みなさんに周知していきたい。 【市長】観光地としての対応を整理していきたい。</p> <p>【市民生活部長】対応方法を考え、周知していきたい。</p>
<p>市民生活部</p>	<p>肥料袋は山部に直接搬入しているが、肥料袋専用の貯めておく（保管しておく）袋などを市で用意することはできないか。</p>	<p>【市長】肥料袋は産業廃棄物となるので、法律的に事業主が対処することになる。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>独居老人の除雪に対して、地域の人などが行った場合の助成措置はあるのか。</p>	<p>【保健福祉部長】除雪が困難な高齢者世帯などに対し、避難用の通路を確保するため、月額400円でタクシー業者などが対応しているが、地域が実施した場合の助成は行っていない。しかし、地域における助け合いという観点で、除雪をお願いする側が一定の負担をするなど、それぞれ地域の考え方で協力・助け合いを進めることも必要である。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>車道と縁石の間に雑草が生え、観光地として放置しておいて良いのかと感じているので、処理をお願いしたい。ボランティアで勝手に草刈りしているが、草の処理に苦慮している。また、事故や車の破損にもつながるので、できれば冬場の撒き砂の除去作業も合せて行ってほしい。市道だけではなく、道道の麓郷街道もお願いできればと思う。</p>	<p>【建設水道部長】草刈りは歩道から民有地側は行っているが、道路と縁石の間の草刈りは、市街地においても同じような課題がある。この作業は機械を使ったとしても手間がかかり、まちの中では一部委託で実施しているが、すべての道路まで対応できていない状況である。また、撒き砂の清掃は春先に1・2回行っているが、すべてを取りきれていない状況である。刈っていただいた草の処理については、ご連絡をいただければ担当部署で回収に伺うが、草刈については今後の検討課題とさせていただきたい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>家の前の橋に水が溜まるので確認したところ、堆積した土で排水溝が埋まっていたので対応してほしい。</p>	<p>【建設水道部長】現地を確認し、対応する。</p>

建設水道部	家の前が雪捨て場になっているが、毎年、川の方へ木が押されるため倒れてきており、その木が倒れて流れてしまい川が積止められるなど、危険な状態になることが想定されるので対応してほしい。	【建設水道部長】現地を確認し、対応する。
建設水道部	麓郷街道の上の方で倒木の危険箇所があるので対応してほしい。	【建設水道部長】旭川建設管理部に話をしていきたい。
教育委員会	平成28年度からスタートした森林学習プログラムのガイドとして参加しているが、ほとんどが40代以上の移住者で人とのつながりができる。地域の子どもたちが社会経験豊富な大人たちとふれあうことで貴重な経験になったり、大人も郷土愛を改めて認識できる場でもあるので、ぜひ事業を継続してほしい。	【教育部長】森林学習プログラムは、小学校で今年は8校で実施し、来年は9校で実施予定である。児童もいろいろな興味や関心を持って参加しており、プログラムがスタートしたばかりではあるが、少しずつ成果が出てきているものと考えている。今まで以上に周知、告知、PRを広報紙やホームページなどを通じて実施していきたい。
総務部	市長をはじめ、市職員と話せる場があることは貴重なことだと思う。このような場を設けることは、大きなまちではなかなかできないことだと思うので、今後も続けていただきたい。	【副市長】意見として受け止める。